

野田九条通信

2011年3月
臨時号

「野田・九条の会」事務局
TEL 7122-0502
野田九条の会ホームページ
<http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>

未曾有の悲劇!! 東北大震災 百里基地等見学ツアー中止

11日発生した巨大な地震と大津波、そして原発の破壊などで、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。野田市内でも亡くなられた方のほか、屋根の破損などの被害が多数出ました。

九条の会の皆様の被害はいかがでしたか。その後ガソリンや生活物資の不足、交通機関の不通や停電など影響が出てきていますが、冷静に対処したいものです。

野田・九条の会で4月6日に予定していた「百里基地と予科練平和記念館」見学バスツアーは、現地の状況や交通事情の不安定などから判断し、中止とします。すでに20人以上の申し込みがあり、楽しみにしておられた方

もたくさんあると思いますが、ご理解をお願い致します。状況が落ち着きましたら、秋にでも計画したいと思っております。よろしくお願いいたします。

政府・大メディア原発報道に不信感

福島原発では爆発など、想像もつかない状況が続いていますが、政府や東電の発表では不安だらけです。放射能の影響が心配されます。

市民団体の測定器では15日には柏でも通常より高い値が検出されたとのこと。その後は通常値に戻っているようですので、あまり神経質になることはないと思えますが、鼻や口からの内部被ばくを減らすた

百里基地のある茨城県小美玉市百里在住で、今回案内をお願いしていた方によると、茨城空港は天井の落下などにより立ち入り禁止となっております。

め、子どもは特に外に出る時はマスクをした方がよいとのこと。関係機関は必死の対処をして

野田・九条の会
賛同人カンパ
受付中です

ですが、けが人はなかったとのこと。周辺の民家では屋根瓦が落ちたりするところが多く出ているとのこと。

百里基地は救援のための自衛隊の基地となつて、出入りがはげしくなっているそうです。

いるのはわかりますが、正確な情報を出してほしいものです。(裏に原発関連記事)

3月17日現在、103人の方から振り込みや現金が集まっています。厳しい状況の中、本当に皆様の九条への想いが伝わってきます。有難うございました。お忘れになっている方など、まだの方は今後いつでも受け付けていますので、よろしくお願います。

震災義援金の 取り組み

マスコミで伝えられる惨状に対し、何かできないかという気持ちの方も多いと思います。今のところ、野田市では社会福祉課(市役所1階)で義援金の受付を行っています。

そのほか郵便局から日本赤十字社への振込もできます。(00140181507 日本赤十字社東北関東大震災義援金)宛。九条の会でも何らかの動きができませんか考えていきます。

4月の九条の会定例会

3月の定例会は中止しましたが4月は第2土曜日(9日)2時より開催する予定です。場所は次号でお知らせします。

起こるはずのない原発震災が現実 即時全原発の停止を



photo from love_child_kyoto's photostream

大震災で犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表するとともに、行方不明者の少しでも早い発見、被災からの一日も早い復興を祈りつつ、そのための協力を惜しみません。

すでに現実化してしまつた原発震災が身近に起こる。しかもこれらは冷却に大量の水が必要のため海沿いに建設されており、これですで見たとように津波の危険を常に抱えている。地震による第一撃、津波や火災による第二撃、そして原発破壊で発生する放射能による第三撃が人々を襲う。事故がチェルノブイリ

さらに発電量の1/3を原発に頼っているという「事実」を強調して、今回の「計画停電」での不便さを利用するだろう。しかし、原発1/3説は火力発電を抑制している結果だ。国際エネルギー機関(IEA)は15日、日本は原子力発電の不足分を補うだけの十分な石油火力発電による余力能力を有している、09年の石油

野田九条の会賛同人

おさなみ
長南 博邦

これまで異端視されながらも、自立し真実を追求してきたジャーナリストや科学者が警鐘を鳴らし、稼働停止を求めてきた「原発震災」が不幸にも的中した。

原発と地震列島は共存できぬ

世界一の技術で何重もの安全装置を施してあるという「安全神話」が、大自然の前に崩れ去り、起こるはずのない原子力発電所の炉心溶解等の大事故が福

日本と同じようにプレート境界上に位置するニュージーランドは、原発がないので大地震だけではないのか

も知れない。しかし、日本はそうではない。全国にもんじゅを含めて55基の原発を抱える日本では、

島第一原発で次々と起

こつている。

現地やその周辺はまさに死の恐怖にさらされ、その危険性の上に乗かれてきた都会の生活と経済はたちどころ

に麻痺してしまつた。しかし、事故は進行中であり、福島原発の規模から言えばチェルノブイリ原発事故以上の災厄に襲われる可能性は消えていない。

級になれば首都圏も避難対象地域となる。

それでも手放さない原発利権

それでも原発に関わる権力者はうそをつき続ける。その一つが「想定外」である。そのためには地震の大きさを表すマグニチュードを当初8.4、次に8.8、そして9.0と引き上げ、いかに

エネルギー政策の全面転換を

火力発電能力の30%しか使用していないとの見解を示した。

もちろん火力発電にいつまでも頼るわけにもいかない。自然エネルギー開発に原発推進並みの予算と体制を取るなら、エネルギー転換は加速度的に進み、それこそグリーンエコノミーにつながる。